

1 【 組織を引っ張る立場としての指導 】

若い教員を伸ばしたい。

生徒指導の進め方や来校者への対応などについて、個人的にアドバイスをし、自分の姿でも示しながら、認める方向で指導している。

主任クラスの教員を伸ばしたい。

仕事へ向かう姿勢や経営的な考え方、若手の手本となるべきことなどを話し、共に同じ意識で行動している。

同じ職場の人間として、一つになって取り組んでほしい。

各種の会議や部会の折に、「全職員で」ということを意識した発言を増やしている。特に児童生徒の指導に関しては、自分から率先して行動している。

組織を指導する立場として、必要な時には具体的に指導している。

2 【 職員が自分自身を高めていけるような働き掛け 】

若い教員を伸ばしたい。

行事や集会の計画づくりの際に、主任クラスの教員を交えて相談したり行動したりして、共に進めている。

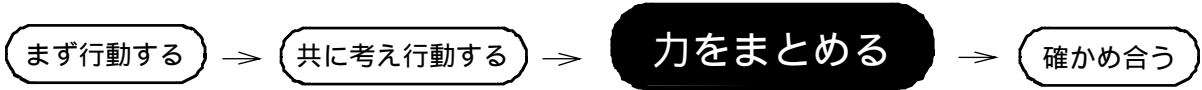
主任クラスの教員を伸ばしたい。

学年や分掌の組織ごとの計画づくりの際に、より短い期間で実現できるような計画づくりに挑戦するようアドバイスしている。

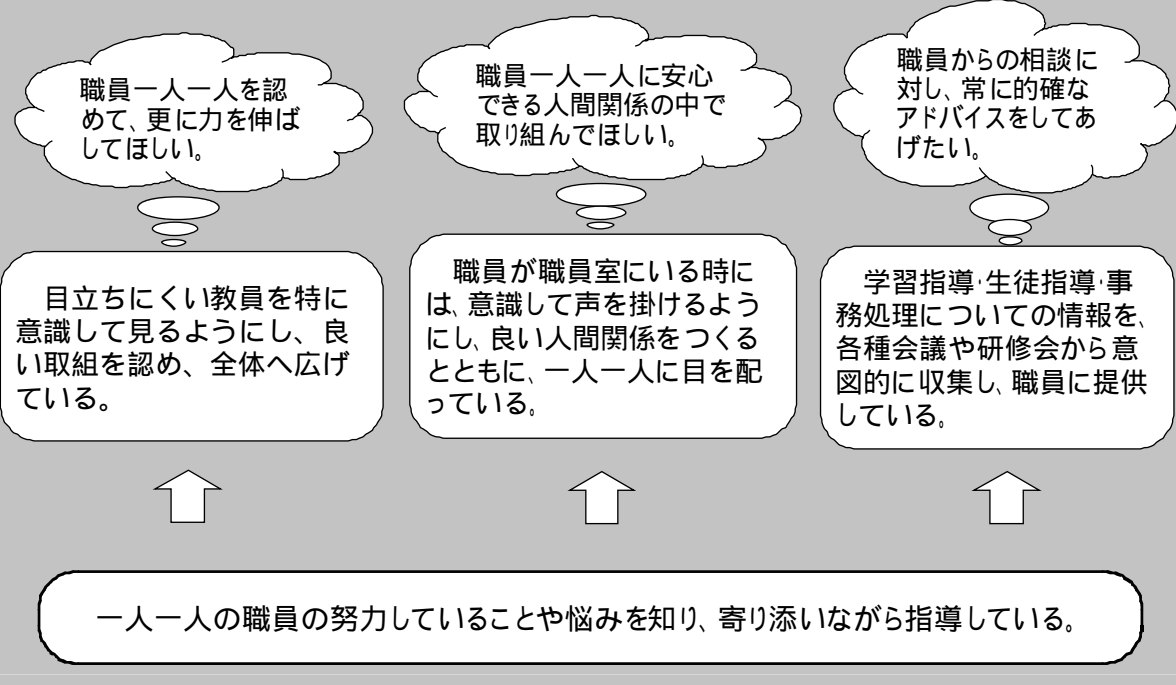
新しいことにチャレンジさせたい。

行事や集会、授業参観等の計画づくりの際に、前回の内容とは一部分でも変えるようアドバイスし、実現に向けて支援している。

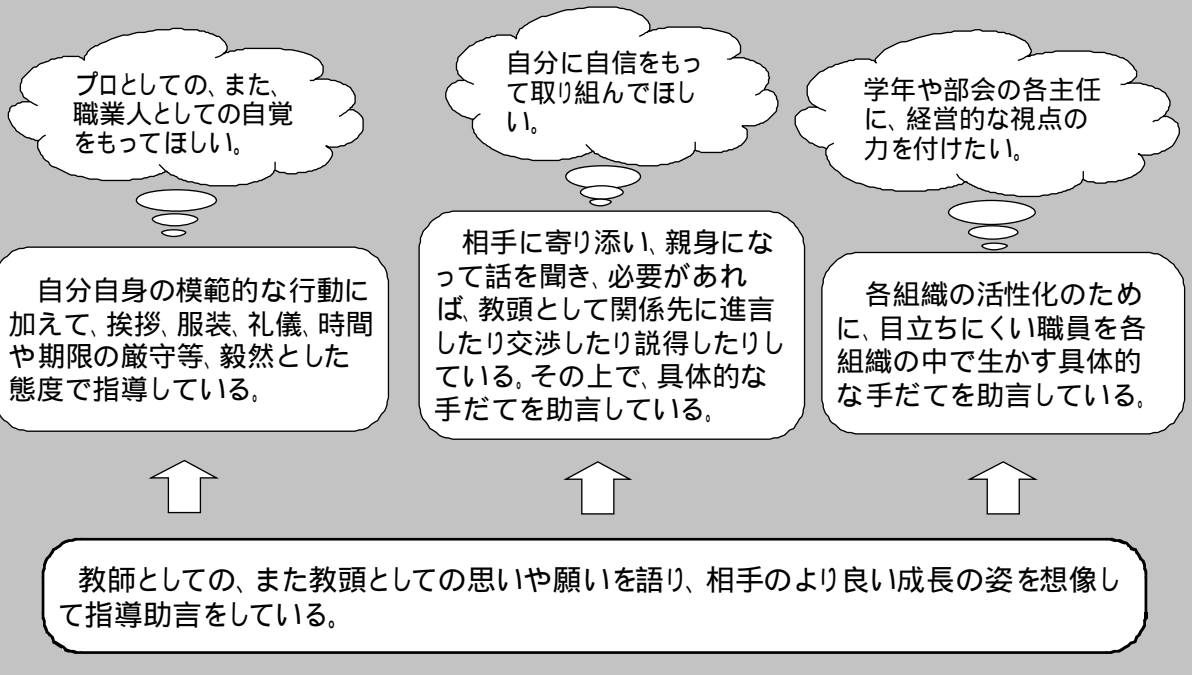
職員一人一人に対する指導の構想をもち、自分で力を高めていけるようアドバイスをしている。



3 【 職員の協力や悩みに共感して支えるための働き掛け 】



4 【 教頭として、教師としての思いを語り、気持ちをまとめる働き掛け 】



教頭
教務主任
学年主任
研修主任